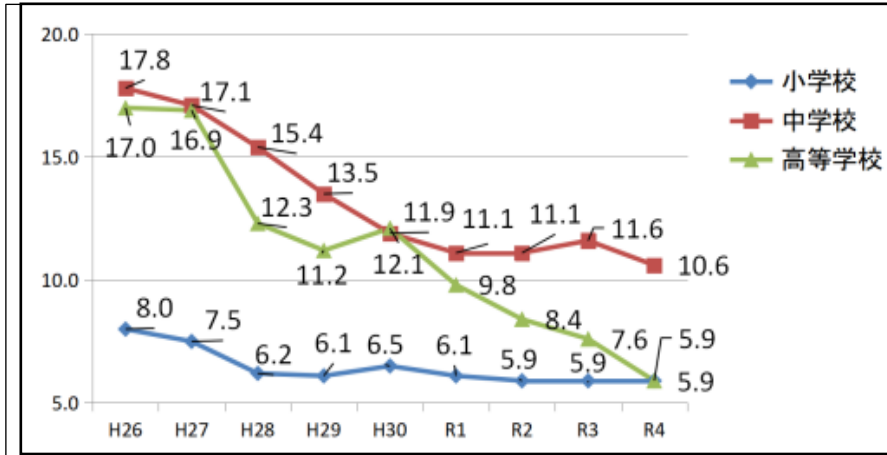


設問5「あなたは、自分がいじめられたら、誰に相談しますか。」に対し、「キ 誰にも相談しない」と回答した児童生徒に対する聞き取り調査結果

■「キ 誰にも相談しない」と回答した子どもの割合の推移（H26～R4）



■誰にも相談しない子どもの理由の内訳

番号	項目	小学校	中学校	高等学校
1	誰に相談すべきかわからない	7%	8%	8%
2	家族に心配をかけたくない	20%	16%	11%
3	弱い立場を知られたくない	3%	2%	3%
4	相談したことが他の人に知られることが心配	5%	5%	2%
5	相談したことに対する仕返しが恐ろしい	2%	1%	1%
6	仲間外れになるのが心配	1%	1%	1%
7	相談しても改善が期待できない	6%	12%	21%
8	現状のさらなる悪化が心配	4%	4%	3%
9	うまく伝えられない	13%	10%	8%
10	自分で解決したい	32%	35%	39%
11	その他	8%	6%	4%

【考察と子どもへの関わりのポイント】

- すべての校種において、自分で解決したい、家族に心配をかけたくない、相談しても改善が期待できない、と回答した児童生徒が多くいる。
- 自分で解決したい児童生徒への関わりについては、自分で解決しようという気持ちを尊重しつつ、他者に頼ることは、視野を広げ、心を成長させることになることを伝える。また、答えは一つではないこと、様々な解決方法があることを共に考え、その中から自分で選択していくことが生きる力につながることを教える。
- 家族に心配をかけたくない児童生徒への関わりについては、家族は、共に悩み、成長を支えてくれる存在であることを伝える。
- 相談しても改善が期待できないと考えている児童生徒への関わりについては、過去の相談で失望体験があれば、そのことも踏まえ、相談したことを後悔させないような相談体制の充実を図る。
- 誰に相談すべきかわからないという児童生徒も一定程度いることから、具体的な相談先について周知する。